

みずほCustomer Desk Report 2020/06/17号 (As of 2020/06/16)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.31
TKY 9:00AM	107.49	1.1338	121.87	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	107.63	1.1353	122.08	1.2638	0.6963
SYD-NY Low	107.22	1.1228	120.47	1.2682	0.6977
NY 5:00 PM	107.33	1.1263	120.90	1.2553	0.6834
				1.2573	0.6888
NY DOW	26,289.98	526.82	日本2年債	-0.160	1.00bp
NASDAQ	9,895.87	169.84	日本10年債	0.020	1.75bp
S&P	3,124.74	58.15	米国2年債	0.196	0.41bp
日経平均	22,582.21	1,051.26	米国5年債	0.335	▲0.63bp
TOPIX	1,593.45	62.67	米国10年債	0.740	2.14bp
シコ日経先物	22,415.00	425.00	独10年債	-0.4295	1.60bp
ロンドンFT	6,242.79	178.09	英10年債	0.2040	▲0.30bp
DAX	12,315.66	404.31	豪10年債	0.9210	5.60bp
ハンセン指数	24,344.09	567.14	USDJPY 1M Vol	6.55	▲0.53%
上海総合	2,931.75	41.72	USDJPY 3M Vol	6.75	▲0.33%
NY金	1,736.50	9.30	USDJPY 6M Vol	7.30	▲0.27%
WTI	38.38	1.26	USDJPY 1M 25RR	-1.40	Yen Call Over
CRB指数	136.27	1.49	EURJPY 3M Vol	8.83	▲0.31%
ドルインデックス	96.96	0.25	EURJPY 6M Vol	8.95	▲0.30%

東京	東京時間のドル円は107.49レベルでオープン。オープン直後こそ107.24まで値を下げる場面もあったが、その後は日経株がプラスに転じる動きや、日銀金融政策会合を挟んで緩やかに上昇し、一時高値107.63をつけた。日銀金融政策会合では現行のYCC付量的・質的金融緩和の継続を賛成多数で決定したほか、コロナ対策特別プログラムの総枠が110兆円に拡大された。企業支援措置を好感する円売りは見られたもの、上値は重く、その後は伸び悩み、結局107.55レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.55レベルでオープン。夕方にパウエル議長の議会証言を控えて、方向感が出にくい展開。約30銭のレンジで横ばいし、107.33レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2667レベルでオープン。アジアの終盤でポンドが買われた流を引き継ぎ、朝方は米株価先物や欧州株価の上昇と共に1.2665まで上値を伸ばした。その後、利益確定とみられるポンド売りが入り、1.26付近まで戻したが、また反発し、結局1.2649レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 マルヒル)
ニューヨーク	海外市場のドル円は107円台半ばでスタート。トランプ米政権が1兆ドル規模のインフラ支出を検討していると報道されたことや、日銀金融政策決定会合でコロナウイルス対策の資金繰り支援総枠が75兆円から110兆円に拡大すると伝わると、リスクオンの円売りが進み107.63まで上昇。しかしその後、「朝鮮半島の軍事境界線付近で爆発音がした」と伝わると、リスクオフの円買いに転じ、上昇分をすべて吐き出し、107.33レベルでオープン。朝方は米5月小売売上高が予想を上回り、過去最大の伸びを記録したことが好感され、米金利の上昇を受けてドルが買われ、107.62まで上昇。しかし、フロリダ州やテキサス州でウイルス感染拡大のペース加速や、中国・北京市内で感染拡大防止のため全ての学校が閉鎖されることが伝わると、一時800ドル超上昇していたダウ平均の急落とともに円買いが加速し、107.32まで反落。午後は米株や米金利が持ち直すも、ドル円は上値の重い推移が続き、107.22まで安値更新。終盤は107.30近辺で小動きとなり、107.33レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは手掛かり材料が乏しい中、1.13台半ばで方向感無く推移。その後、先述のヘッドラインを受け、北朝鮮と韓国の対立激化懸念に圧迫されたユーロ円につれ安くなり、1.1295まで下落し、1.1305レベルでNYオープン。朝方は好調な米経済指標の結果を受けて、米金利の上昇とともにドル買いが強まり、再び1.1300を割り込む。その後、米国や中国の一部地域での感染拡大懸念を背景に下落するユーロ円に圧迫され、1.1228まで下落するが、15日安値付近(1.1227)で下げ止まる。午後はリスクオフの流れが一巡し、1.1260近辺まで反発後、次第に小動きとなり、結局、1.1263レベルでクローズ。本日、パウエルFRB議長が上院銀行委員会で証言し、慎重姿勢を維持したが、目新しい材料は見当たらず、市場への影響は限定的だった。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 原田・大谷 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

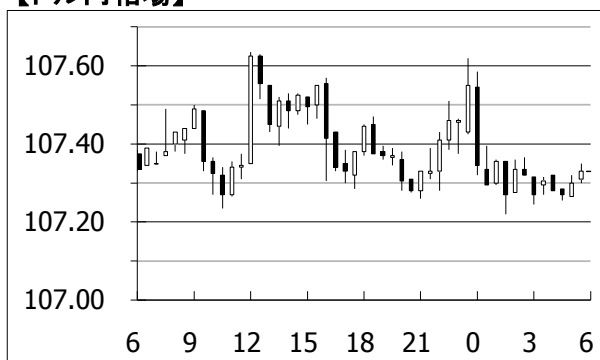
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月16日	11:33	日 日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	-	-0.10%
	15:30	日 黒田日銀総裁 記者会見	-	「必要があれば躊躇なく追加緩和」
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	5月	-0.1%/0.6%
	18:00	独 ZEW調査(現状/期待)	6月	63.4/-83.1
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	5月	17.7%
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	5月	1.4%
	23:00	米 パウエルFRB議長 講演	-	「回復の時期と強さは著しく不透明」

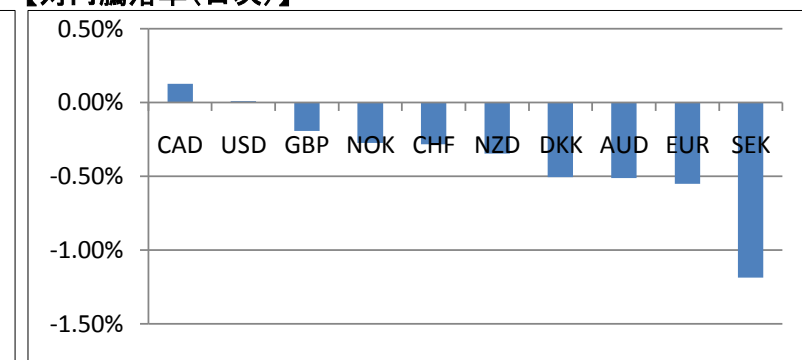
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月17日	08:50	日 貿易収支	5月	-¥1030.0b
	15:00	英 CPI(前月比/前年比)	5月	0.0%/0.5%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	5月	-0.1%/0.1%
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	5月	1100k/1245k
6月18日	01:00	米 パウエルFRB議長 講演	-	-
	05:00	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 今後のドル円の行方

週明け月曜日の株式市場は大荒れとなり、日経平均株価は▲3.4%、S&P500種も寄り付き直後に3,000を割って▲2.4%と大荒れのスタートとなった。FRBはセカンダリーマーケット・コーポレートクレジットファシリティー(SMCCF)と呼ばれる枠組みを利用し、投資適格級の格付けをもつ社債の購入を発表することで、投資家心理の改善を図った。火曜日のリスクオンはこれに反応した形であったが、実は3月にFRBが発表している緩和策を再度発表したに過ぎず、特段目新しいものではない。また、SMCCFを利用し、社債ETFはすでに55億ドルを購入。2,500億ドルの資金供給はすでに始まっている。こうした目新しい材料のない中における反発は一時的なものに過ぎない可能性がある。また、16日に発表された日銀金融政策決定会合は、予想通りの政策据置き。すでにリスク資産買い入れを行っている日銀にとっては切るカードが少ない。据置きは当面続くであろう。加えて、18日には英国で政策決定委員会が行われる予定である。マイナス金利導入は時期尚早であろうが、資産買い入れ額の増額は現実味が低い。18日を終われば今月の中央銀行イベントは終了する。アナウンスメント効果によって支えられたリスク資産は、徐々にその効果を失い、焦点は再拡大し始めた新型コロナウイルスの感染に戻ってくると思われる。かかる状況下、ドル円は年度初からのレンジである107円ちょうどを挟んだ展開に戻ると予想される。(原田)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	牛島	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
山口	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	小林
ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14